

# 公立・公的医療機関以外の2025年に向けた具体的対応 方針の調査結果について

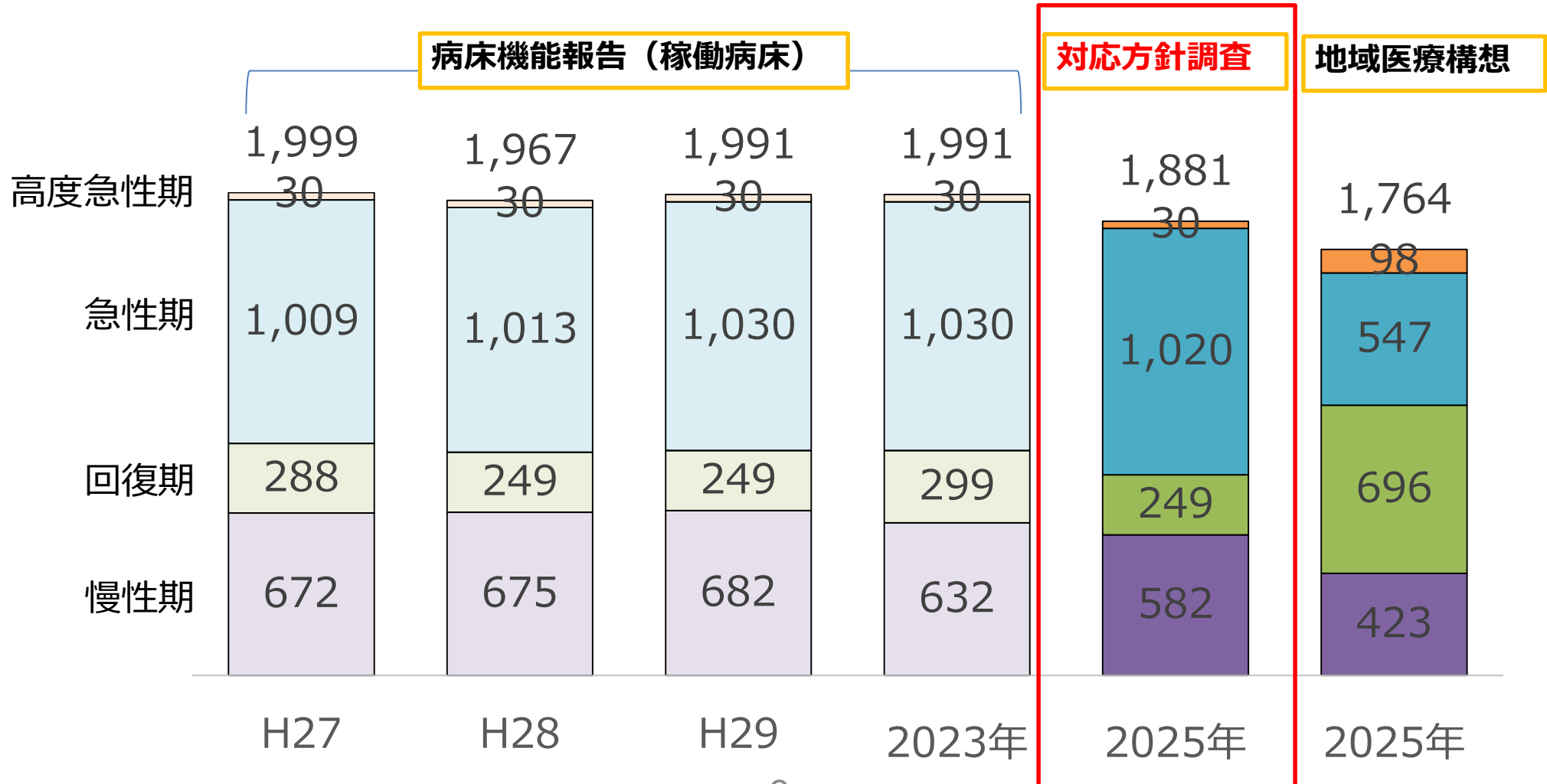
# 2025年に向けた対応方針調査の概要

- 本県では、厚生労働省が求める民間の医療機関の具体的な対応方針の策定について、地域医療構想調整会議で了承された対応方針に基づき、調査を実施。

調査項目	記入例
病院類型	在宅療養支援病院、救急告示病院 等
入院機能（入院基本料）	一般病棟 7 対 1 入院基本料、療養病棟入院基本料 1 等
連携・ネットワーク	急性期病院   ○○病院のポストアキュート患者を受け入（年○○○人） 開業医   開業医のかかりつけ患者の急変受入（年○○人） 介護・福祉施設   ○○（特養）へ訪問診療を実施（年○○回）、看取り（年○○人）まで対応
病院が抱える課題	在宅急変時患者の対応を強化したいが、内科医の不足により困難。等
将来（2025年）の姿	(1) 入院：病床数 ○○病棟（急性期○○床）、○○病棟（回復期○○床）、介護医療院へ転換○○床 (2) 必要となる連携先 ○○病院（循環器ポストアキュート）、特養等（在宅急変時対応） 等 (3) その他 オンライン診療の導入を検討 等
今後の方向性	救急機能の充実   医師の確保、総合確保基金を活用した病床機能転換 等 在宅医療の実施   介護・福祉施設との連携の在り方を検討 等
総合確保基金事業等への要望	自由記載

# 調査結果について - 病床機能 -

- 2025年に向けた対応方針調査に基づく上小医療圏の病床数は、以下のとおり。
- 平成29年度病床機能報告と比較すると、介護医療院への転換により、慢性期病床が減少している。（医療機関ごとの詳細は、次頁に掲載）



# 調査結果について - 病床機能（病院） -

- 医療機関ごとの対応方針は、以下のとおり。
- 複数の医療機関において、病床機能の転換が行われる見込み。

医療機関名（下記注1）	高度急性期			急性期			回復期			慢性期			計			許可 病床数
	A	B	B-A	A	B	B-A	A	B	B-A	A	B	B-A	A	B	B-A	
独立行政法人国立病院機構 信州上田医療センター	30	30		290	290		0	0		0	0		320	320		416
丸子中央病院	0	0		150	150		0	0		150	50	-100	300	200	-100	200
国民健康保険依田窪病院	0	0		131	131		0	0		0	0		131	131		140
東御市民病院	0	0		60	60		0	0		0	0		60	60		60
医療法人健和会 小林脳神 経外科・神経内科病院	0	0		51	51		0	0		0	0		51	51		88
医療法人慈善会安藤病院	0	0		47	56	9	0	0		44	43	-1	91	99	8	115
長野県厚生農業協同組合連 合会鹿教湯三才山リハビリ テーションセンター鹿教湯 病院	0	0		40	40		196	196		133	133		369	369		416
医療法人仁和会上田花園病 院	0	0		36	36		0	0		0	0		36	36		36
医療法人健静会上田病院	0	0		35	35		0	0		37	37		72	72		72
医療法人共和会塩田病院	0	0		33	33		0	0		18	19	1	51	52	1	52
医療法人健救会柳沢病院	0	0		33	33		0	0		65	65		98	98		98
上田市立産婦人科病院	0	0		27	27		0	0		0	0		27	27		27
長野県厚生農業協同組合連 合会 鹿教湯三才山リハビリ テーションセンター三才 山病院	0	0		0	0		34	34		203	203		237	237		237

注1 A:平成29年度病床機能報告結果(稼働病床数) B:2025年に向けた対応方針調査結果(公立・公的プラン、対応方針調査) C:2025年度の病床数必要量の推計値

注2 公立・公的医療機関におけるBの病床数は、積上げの便宜上、Aの数字を流用している。

注3 有床診療所は、平成29年度病床機能報告の稼働病床数を用いて集計)

注4 許可病床数は平成30年10月時点の一般・療養許可病床の合計数)

# 調査結果について - 病床機能 (診療所) -

医療機関名 (下記注1)	高度急性期		B-A	急性期		B-A	回復期		B-A	慢性期		B-A	計		B-A	許可病床数
	A	B		A	B		A	B		A	B		A	B		
医療法人慈修会 上田腎臓クリニック	0	0		19	19		0	0		0	0		19	19		19
上田生協診療所	0	0		19	19		0	0		0	0		19	19		19
さなだクリニック	0	0		19	0	-19	0	0		0	0		19	0	-19	0
東御記念セントラルクリニック	0	0		19	19		0	0		0	0		19	19		19
角田産婦人科内科医院	0	0		14	14		0	0		0	0		14	14		14
あおやぎ眼科	0	0		6	6		0	0		0	0		6	6		6
医療法人光仁会 川西医院	0	0		1	1		0	0		0	0		1	1		19
医療法人秀栄会 岸医院	0	0		0	0		19	19		0	0		19	19		19
祢津診療所	0	0		0	0		0	0		19	19		19	19		19
医療法人社団真征会 池田クリニック	0	0		0	0		0	0		13	13		13	13		13

病院計	30	30		933	942	9	230	230		650	550	-100	1843	1752	-91	1957
有床診療所計	0	0		97	78	-19	19	19		32	32		148	129	-19	147
計	30	30		1030	1020	-10	249	249		682	582	-100	1991	1881	-110	2104

	B	C	B-C	B	C	B-C	B	C	B-C	B	C	B-C	B	C	B-C	許可-C
病床数の必要量 (参考値) との差	30	98	-68	1020	547	473	249	696	-447	582	423	159	1881	1764	117	340

注1 A:平成29年度病床機能報告結果(稼働病床数) B:2025年に向けた対応方針調査結果(公立・公的プラン、対応方針調査) C:2025年度の病床数必要量の推計値

注2 公立・公的医療機関におけるBの病床数は、積上げの便宜上、Aの数字を流用している。

注3 有床診療所は、平成29年度病床機能報告の稼働病床数を用いて集計)

注4 許可病床数は平成30年10月時点の一般・療養許可病床の合計数)

# 調査結果について - ネットワーク -

【連携・ネットワークの状況】※調査票にご記載をいただいたもの。

○ 上小医療圏の医療機関ごとの連携状況は、以下のとおり。

急性期	医療機関施設名	開業医
終末期（緩和ケアを含む）患者の紹介受入	医療法人共和会塩田病院	← 入院の必要がある患者の受入れ
急性期病院の後方支援	医療法人健救会柳沢病院	→ 無床診療所の在宅支援
信州医療センター、佐久医療センターよりターミナル患者の受入	医療法人健静会上田病院	← 開業医のかかりつけ患者の急変受入
信州上田医療センターと連携	医療法人健和会 小林脳神経外科・神経内科病院	→ 上小地域の開業医の先生と機動性のある連携 ←
信州上田医療センターからの慢性期患者の受け入れ	医療法人慈善会安藤病院	← 上田および小県医師会の皆様より随時ご紹介の受け入れ
信州上田医療センター、佐久医療センターよりポストアキュート患者の受入 （年間50人 内入院12人）	医療法人仁和会上田花園病院	← 開業医のかかりつけ患者の急変受入（年間192人（内入院120人））
信州上田医療センター、信州大学医学部付属病院、佐久医療センターと連携	丸子中央病院	→ 精査、検査依頼、入院対応などの紹介を受け入れ、 ← 治療終了後は逆紹介している。

---

医療機関施設名	介護・福祉施設
医療法人共和会塩田病院	→ 近隣の社会福祉施設からの受入れ ← 近隣の有料老人ホームへの訪問診療（月1回）
医療法人健救会柳沢病院	→ 福祉施設居住者の在宅支援（開業医の依頼による）
医療法人健静会上田病院	→ ケアライフ古里、サンパレス常磐城へ訪問診療実施
医療法人健和会 小林脳神経外科・神経内科病院	→ 当院から転院になるケースもあり、介護福祉士と連携をとり緊急の対応をしております
医療法人慈善会安藤病院	→ 上田大手門 サンパレスときわぎ ざいもくちょう 敬老園 うえだ敬老園 ケアハウスうえだ敬老園 うえだみなみ敬老園 フローレンス上田 上田神川 愛の郷 慎 まど花 上田原 ラ・ナシカ うえだ
医療法人仁和会上田花園病院	← 介護・福祉施設からの急変受入（年間12人（内入院 12人））
丸子中央病院	← 当法人施設との連携はもとより、地域の施設からの緊急入院を受け入れている。

# 調査結果について - 課題 -

【抱える課題】 ※調査票にご記載をいただいたもの。

○ 上小医療圏における医療機関ごとの課題は、以下のとおり。

医療機関施設名	人的資源	物的資源	その他（在宅医療・経営・役割）
医療法人共和会塩田病院	医師の高齢化、常勤の内科医不足	病院施設の老朽化	外来患者の減少
医療法人健救会柳沢病院	介護スタッフ確保が重要 （賃金改革をしたくとも診療報酬改定に期待値薄い、自由診療にも制限があるなか経営に活路が見いだせない）	建物の老朽化（耐震補強工事、スプリンクラーの設置、空調etc）	
医療法人健静会上田病院	夜勤看護師と若手看護師の不足、看護師・看護補助者の定着		
医療法人健和小林脳神経外科・神経内科病院	常勤の若手医師、医療スタッフ(特に看護師・介護士)の不足（大学病院からのパートで対応）		
医療法人慈善会安藤病院	医師・看護師及び介護人員不足	建物老朽化	
医療法人仁和会上田花園病院	看護職員不足のため、夜間救急の受入れに支障あり		
丸子中央病院	透析医、認知症専門医、発達障害専門医、介護職員の不足		在宅医療センターの発足 介護医療院への転換に伴い、許可病床数が200床に減床したことによる医療の効率化、リハビリ需要の増大と供給不足

# 調査結果について - 今後の方向性 -

【今後の取組】 ※調査票にご記載をいただいたもの。

○ 上小医療圏における医療機関ごとの今後の方向性は、以下のとおり。

医療機関施設名	救急機能の充実	在宅医療の実施	その他
医療法人共和会塩田病院	現在は未定 今後、地域アセスメントの結果を踏まえ検討予定	現在は未定 今後、地域アセスメントの結果を踏まえ検討予定	
医療法人健救会柳沢病院	二次救急医療の受け入れ維持	地域包括ケア入院医療の a c t i v e な活用方法	
医療法人健静会上田病院	現状維持	現状維持	
医療法人健和会 小林脳神経外科・神経内科病院			
医療法人慈善会安藤病院	2次救急までの受け入れ	在宅復帰機能の拡充	
医療法人仁和会上田花園病院	看護職員の確保	介護・福祉施設との連携の在り方を	在宅医療を実施するための医師の確保
丸子中央病院	救急搬送患者の応需率を高めるためのスタッフの確保とより密な連携	当院による訪問診療の実施	急性期リハビリの充実と、需要の増える外来リハビリの対応の検討発達障害センターとしてのリハビリ体制



# 現状の上小医療圏の提供体制（調査結果等を踏まえたもの）

## 1 今回の調査結果及び昨年度共有した公立・公的医療機関のプランの内容を踏まえた上小医療圏の提供体制

（病院類型や主な病棟機能に着目したもの）

（出典：「施設基準の届出状況」 関東信越厚生局長野事務所 平成30年10月1日現在を参考に県で集計）

	信州上田医療センター	丸子中央病院	健救会柳沢病院	健静会上田病院	国民健康保険依田窪病院	健和会小林脳神経外科・神経内科病院	東御市民病院	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院	仁和会上田花園病院	上田市立産婦人科病院	慈善会安藤病院	共和会塩田病院	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター三才山病院	計
	独立行政法人国立病院機構	医療法人	医療法人	医療法人	市町村	医療法人	市町村	厚生連	医療法人	市町村	医療法人	医療法人	厚生連	
地域医療支援病院	◇													-
特定集中治療室管理料3	4													4
新生児特定集中治療室管理料2	3													3
病院群輪番制	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆		◆	◆		-
救急告示病院	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●		-
急性期一般入院料1	316	100												416
急性期一般入院料5			33	28	92	51								204
急性期一般入院料6							60							60
急性期一般入院料7								40	36	27				103
小児入院医療管理料4	19													19
小児入院医療管理料5							60							60
地域一般入院料3											47	33		80
地域包括ケア病棟入院料1			17		39									56
地域包括ケア病棟入院料2		50		7				43						100
回復期リハビリテーション病棟入院料2								147					34	181
入院料1（療養病床）		50	65	27				50			44	19	134	389
入院料2（療養病床）													50	50
障害者施設等入院基本料10対1入院基本料								83						83
介護療養病床				10										10
在宅療養支援病院				●			●							-
在宅療養後方支援病院		●												-
	342	200	115	72	131	51	120	363	36	27	91	52	218	1818

高度急性期  
急性期  
回復期  
慢性期

## 2 平成29年度病床機能報告における稼働病床数と病床機能の区分

高度急性期	30													30
急性期	290	150	33	35	131	51	60	40	36	27	47	33		933
回復期								196						230
慢性期		150	65	37				133			44	18	34	650
計	320	300	98	72	131	51	60	369	36	27	91	51	237	1843